

# 事業再構築補助金

## 第6回公募からの変更点の概要

# 事業再構築補助金の概要（従来制度）

## 補助金額・補助率

※通常枠

従業員数	補助金額	補助率
20人以下	100万円～4,000万円	2/3
21人～50人	100万円～6,000万円	
51人以上	100万円～8,000万円	2/3 (6,000万円超は 1/2)

※中堅企業等 1/2 (4,000万円超は 1/3)

## ① 事業再構築要件

★事業再構築指針に示す「事業再構築」の定義に該当する事業であること

## ② 売上高減少要件

★**2020年4月以降**の連続する6か月間のうち、任意の3か月の合計売上高が、コロナ以前（2019年又は2020年1月～3月）の同3か月の合計売上高と比較して10%以上減少していること

※2020年9月以前を対象月とした場合2020年10月以降売上高が5%以上減少していることを条件とする

※付加価値額で代用可能に  
⇒売上高10%減少もしくは**付加価値額15%減少**

## ③ 認定支援機関要件

★事業計画を認定経営革新等支援機関と策定すること

## ④ 付加価値額要件

★補助事業終了後 3～5年で付加価値額の年率平均 3.0%以上増加、又は従業員一人当たり付加価値額の年率平均3.0%以上増加する見込みの事業計画を策定すること

※付加価値額の定義は、営業利益、人件費、減価償却費を足したもの

# 事業再構築補助金の変更点(第6回公募より)

## ①売上高10%減少要件の緩和

要件期間に変更あり、複数要件から10%以上減少していることの1つの要件へ

## ②回復・再生応援枠の新設

緊急事態宣言特別枠の廃止に伴い  
業績が厳しい事業者向けの  
新しい申請枠が開始

## ④通常枠の補助上限額の見直し

現在の従業員規模に応じた補助上限額が  
変更され2,000万円の枠が開始

## ③グリーン成長枠の新設

グリーン分野での事業再構築を通じて  
高い成長を目指す事業者を対象に  
新しい申請枠が開始

- \* 14分野で掲げた課題の解決
- \* 売上10%要件なし
- \* 付加価値年率は3%⇒5%へ
- \* 1度採択でも2回目OK!

## ⑤補助対象経費の見直し

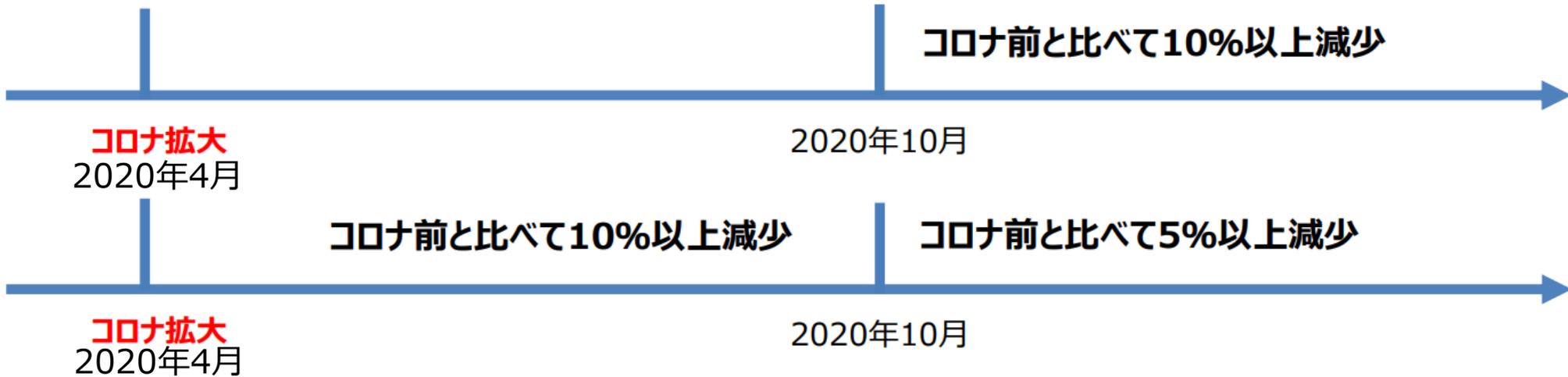
- ・「建物費」が原則、改修の場合に制限される  
新築の場合は、一定の制限が設けられる
- ・「研修費」が補助対象経費総額の1/3に  
制限される

# 事業再構築補助金の変更点(第6回公募より)

## 売上高10%減少要件の緩和

第5回公募まで…コロナ前後を比較して10%以上減少していれば、2020年10月以降はコロナ前と比べて5%以上の減少でも申請可

～以下のどちらでも申請可能～



第6回公募から…コロナ前後を比較して10%以上減少していれば申請可



# 事業再構築補助金の変更点(第6回公募より)

## 成長枠成長が期待される14分野

### 2050年に向けて成長が期待される、14の重点分野を選定。

・高い目標を掲げ、技術のフェーズに応じて、実行計画を着実に実施し、国際競争力を強化。・2050年の経済効果は約290兆円、雇用効果は約1,800万人と試算。



#### 洋上風力・ 太陽光・地熱

- ・2040年、3,000~4,500万kWの案件形成【洋上風力】
- ・2030年、次世代型で14円/kWhを視野【太陽光】



#### 水素・ 燃料アンモニア

- ・2050年、2,000万トン程度の導入【水素】
- ・東南アジアの5,000億円市場【燃料アンモニア】



#### 次世代 熱エネルギー

- ・2050年、既存インフラに合成メタンを90%注入



#### 原子力

- ・2030年、高温ガス炉のカーボンフリー水素製造技術確立



#### 自動車・ 蓄電池

- ・2035年、乗用車の新車販売で電動車100%



#### 半導体・ 情報通信

- ・2040年、半導体・情報通信産業のカーボンニュートラル化



#### 船舶

- ・2028年よりも前倒しでゼロエミッション船の商業運航実現



#### 物流・人流・ 土木インフラ

- ・2050年、カーボンニュートラルポートによる港湾や、建設施工等における脱炭素化を実現



#### 食料・ 農林水産業

- ・2050年、農林水産業における化石燃料起源のCO<sub>2</sub>ゼロエミッション化を実現



#### 航空機

- ・2030年以降、電池などのコア技術を、段階的に技術搭載



#### カーボンサイ クル・マテリアル

- ・2050年、人工光合成プラを既製品並み【CR】
- ・ゼロカーボンスチールを実現【マテリアル】



#### 住宅・建築物・ 次世代電力 マネジメント

- ・2030年、新築住宅・建築物の平均でZEH・ZEB【住宅・建築物】



#### 資源循環関連

- ・2030年、バイオマスプラスチックを約200万トン導入



#### ライフスタイル 関連

- ・2050年、カーボンニュートラル、かつレジリエントで快適なくらし